

ちちぶ広域

圏内人口：95,984人
世帯数：41,311世帯
面積：892.62km²
(令和3年6月1日現在)

ちちぶ広域消防防災拠点施設竣工 ～安心・安全なまちづくりのために～



(施設概要は、
4ページをご覧ください。)

執行部・議会 新人事体制決まる！

5月14日開催の*理事会において、新たな正副管理者が選任されました。

また、5月28日に組合議会臨時会が開催され、正副議長が新たに選任されるなど、人事体制が変わりましたので紹介します。

※理事会：秩父広域市町村圏組合を構成する1市4町の長で構成

就任のあいさつ



管理者
北堀 篤

去る、5月14日の組合理事会におきまして、理事各位のご賛同を賜り、管理者並びに副管理者に就任いたしました。ご案内のとおり、秩父広域市町村圏組合は10の事業を共同処理しており、発足から50年の歴史がある一部事務組合でございます。

「広域行政」は一つの市町では解決できない行政課題に対し、広域的な連携の仕組みを積極的に活用し、市町が協力して実施することにより、効率的でかつ質的にも向上した事務事業が可能となるものであり、地域住民に対してより効率的で合理的な行政サービスが提供できる場所にある、その存在意義があるものと思っております。

今後とも1市4町が胸襟を開き、パートナーシップをもって広域行政、広域的な視点に立った地域づくりに取り組んでいくことが必要と考えております。



副管理者
大澤タキ江



議長
浅海 忠

去る、5月28日の組合議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長並びに副議長の要職に就くことになりました。

ご案内のとおり、秩父広域市町村圏組合では、ごみの収集と処理、結核予防、斎場業務などの保健衛生事業、介護認定審査や自立支援審査にかかる福祉事業及び常備消防業務を実施しており、平成28年度からは、新たに水道事業が組合の事務に加わったことで、住民生活に身近で欠かすことのできない10の事業を共同処理しております。

このように、共同処理する事業が増えることで、併せて組合全体の予算規模も増加しており、これまで以上に合理的かつ効果的な組合の運営が求められております。



副議長
関根 修

秩父畜場へ寄贈いただきました

秩父郡市霊柩車運送経営者組合様からアクリルパーテーションを寄贈いただきました。来場される方々の新型コロナウイルス感染防止対策として、待合室に設置させていただきました。ありがとうございました。

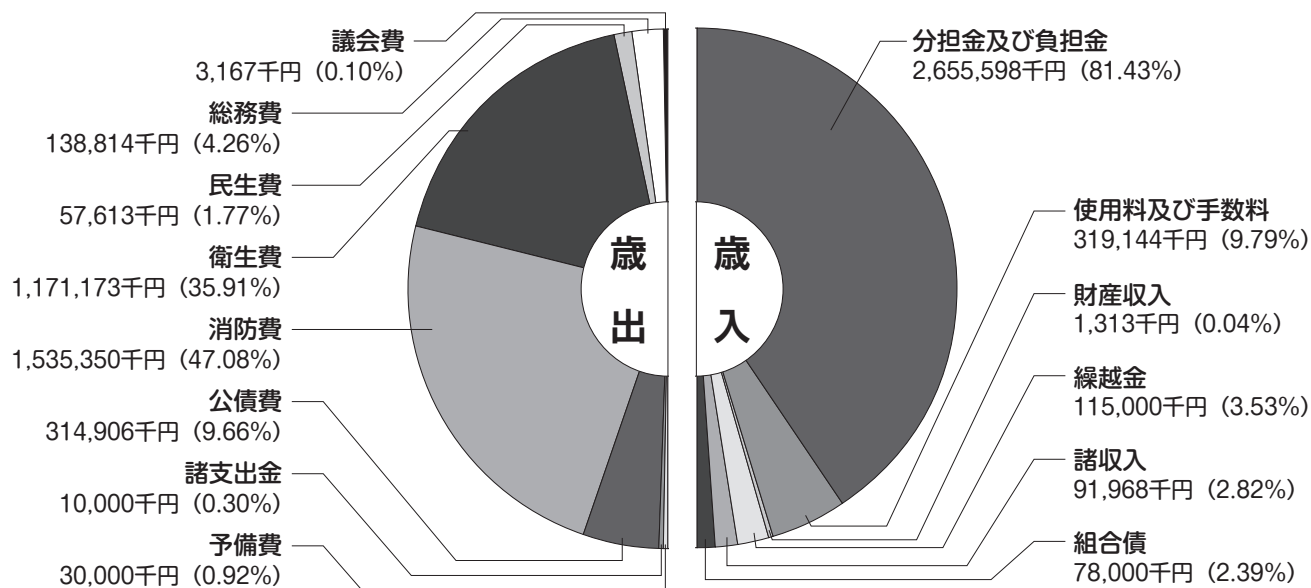
組合議会議員	
議長	浅海 忠 (秩父市)
副議長	関根 修 (横瀬町)
上林 富夫 (秩父市)	
山中 進 (秩父市)	
黒澤 秀之 (秩父市)	
赤岩 秀文 (秩父市)	
木村 隆彦 (秩父市)	
本橋 貢 (秩父市)	
小櫃 市郎 (秩父市)	
黒澤 克久 (横瀬町)	
林 豊 (皆野町)	
四方田 実 (皆野町)	
新井 利朗 (長瀬町)	
染野 光谷 (長瀬町)	
笠原 義行 (小鹿野町)	
出浦 正夫 (小鹿野町)	

※敬称略

議会構成…市から8人、各町から2人ずつの16人で構成

令和3年度の一般会計予算の総額は32億6,102万3千円で、前年度（令和2年度）と比較すると2億4,263万3千円（6.93%）の減額となっており、組合議会2月定例会で可決されました。

歳入の約8割が構成市町からの負担金となっておりますので、より一層の経済的・効率的な事業の執行に努めていきます。



令和3年度主要な事業

福祉・保健衛生費関係

・結核検診撮影業務	18,691千円
・循環器検診業務	6,358千円
・救急医療体制の維持	57,681千円
・火葬炉運転等業務	23,540千円

消防費関係

・高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線設備保守点検業務	24,750千円
・消防ポンプ自動車	44,929千円
・救急自動車	30,000千円
・消防本部庁舎仮眠室・シャワー室改修工事	16,000千円

清掃費関係

・指定ごみ袋製作購入	34,874千円
・廃棄物収集業務	191,400千円
・クリーンセンター蒸気タービン発電設備法定検査整備業務	24,478千円
・クリーンセンター本体定期整備業務	121,550千円
・クリーンセンター集じん灰及び焼却灰資源化業務	126,055千円
・最終処分場の再資源化業務による延命化対策	93,177千円

問い合わせ 管理課 ☎23-2242

～ ぬくもりのある、里の森の火葬場 ～

疑問・質問
教えて

秩父斎場について質問します

◎秩父斎場ってどういう施設なの？

△平成29年3月に建て替えられた秩父地域で唯一の火葬施設です。

秩父地域産のスギやヒノキをふんだんに使い、秩父銘仙をアクセントに加えた暖かみのある施設となっています。

◎どんな設備があるの？

△故人と心ゆくまでお別れができる告別・収骨室や、木造の待合ホールと待合室があります。

また、お子さま連れの方向けに、授乳室やキッズコーナーも設けており、バリフリー対策もされていますので、どなたでも安心して利用できます。

※感染症予防のため、使用制限のある設備があります。

◎煙突がないようだけれど？

△古い施設には煙の出る高い煙突があることが多いですが、秩父斎場では煙に含まれる有害物質を最新の設備で取り除き、安全な状態にして小さな排気筒から放出しています。

◎ペットの火葬もできるの？

△ペットもお受けできますが、他の動物と合わせての焼却となります。

収骨やセレモニーを希望される場合は、民間のペット霊園等をご利用ください。

問い合わせ 秩父斎場 ☎23-1678

新しい施設と車両を紹介します

ちちぶ広域消防防災拠点施設

近年多発する予測困難な大規模災害などに有効に対応できる、安心・安全なまちづくりを目的に、新たな消防防災施設『ちちぶ広域消防防災拠点施設』が令和3年3月に完成しました。

この施設は、常備消防業務以外に消防団や自主防災組織の利用も可能となっています。

【施設概要】（表紙施設写真 手前：1号館 奥：2号館）

○1号館は鉄筋コンクリート造の5階建てです。

1階は研修室、2階は更衣室と研修準備室、3階から5階までは訓練室となっています。研修室は、最大収容人員30名で大型テレビ、プロジェクターを完備し、様々な研修が対応可能になっています。

○2号館は鉄筋コンクリート造の3階建てです。

1階が車庫・資機材庫、2階が防災倉庫、3階が訓練室になります。2階の防災倉庫には、避難所などで使用する非常食や寝袋などを備蓄しています。



問い合わせ 管理指導課 ☎21-0123

マンホール等を想定した救助訓練もできます。

小型動力ポンプ付水槽車

平成7年3月から26年間運用した水槽車の老朽化に伴い、令和3年3月8日から秩父消防署南分署へ新たな『小型動力ポンプ付水槽車』を配備し運用開始しました。

【車両概要】

新水槽車は、5,000ℓの水を積載し、車両後部に可搬式ポンプ（B-2級）が整備されています。このポンプは1分間に最大1,000ℓの放水ができ、水槽車単独での消火活動も可能です。また、貯水槽などに接続すれば可搬ポンプで吸水し継続的な放水も可能となっています。

問い合わせ 警防課 ☎21-0122



皆野町、長瀬町で水道新料金の適用が始まります

水道局では、令和3年4月1日に水道料金を改定しました。

皆野町、長瀬町の水道を継続利用している方は、7月から新料金による請求になりますので、ご注意ください。

横瀬町、小鹿野町は来年1月から新料金での請求となります。なお、秩父市は変更ありません。

詳しくは、水道局が発行している広報「水道だより」またはホームページをご覧ください。

※過去の水道だよりもホームページからご覧いただけます。

<https://www.c-kouiki.jp/wd/suido-dayori-3-2/>

問い合わせ 経営企画課 ☎25-5221

救急車のサイレン 鳴らさず来られないの??

救急車を呼ぶときに「近所迷惑になる」等の理由で、サイレンを鳴らさないで来てほしいといった要望をいただくことがあります。

しかし、救急出動時にサイレンを鳴らすことは、道路交通法で決まっており、サイレンを鳴らさずに向かうことはできません。

これは緊急性のある傷病者のところへ少しでも早く到着し、医療機関へ安全に搬送するためです。ご理解・ご協力をお願いします。

救急車は緊急性の高い方を搬送します



問い合わせ 指揮統制課 ☎21-0119